

## 第1回あわら市行政改革等推進委員会会議録（要旨）

1 日 時 令和元年9月30日(月) 13:30～17:05

2 場 所 あわら市役所203会議室

3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価

4 資 料 ・令和元年度施策評価シート

5 出席者 委員：桑原美香（会長）、長谷川巧、坪田 清孝、伊藤和幸、土田洋輔、  
大宮健司、岡正實、佐孝修彦

内部委員：城戸橋総務部長、笹井総務部長兼財政部長

市民生活部：糠見市民生活部長、山田市民課長、渡邊生活環境課長、

健康福祉部：藤井健康福祉部長、笹木福祉課長、中道子育て支援課長、常廣健康  
長寿課長

経済産業部：後藤経済産業部長、大角農林水産課長、伊藤農林水産部理事、中嶋  
商工労働課長、堀江観光振興課長、中島観光商工課長補佐

事務局：武田政策課長、藤田政策課長補佐、長谷川政策課主査

## 6 会 議

・あいさつ

・議事

以下の議事録において、施策番号は【 】で表記する。

会長 令和元年度行政評価に係る外部評価に関し、事務局の説明をお願いする。

13:35～

事務局 （行政評価シートの見方及び外部評価の説明）

13:49～14:20

会長 市民生活部所管施策に関し、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【1】環境の保全【2】循環型社会の構築【4】安心なまちづくりの推進  
【12】社会保障制度の充実の説明）

会長 【1】環境の保全について意見や質問はないか。

委員 歩道の雑草の処理は、この施策に入るのか。

副市長 環境保全には入らず、道路の維持管理に属する。シルバー人材センターなど  
へ委託しているが、単価が上がっている状況である。

委員 北潟湖の水質がきれいになっていない。北潟地区の下水の接続状況は？

市民生活 あわら全体で約93%の加入率。水質については水門関係の問題などもあるが、  
部長 現在北潟湖自然再生協議会において専門的な見地から調査などを進めいてい

るところである。

副市長 毎年度水質検査を行っており、リンなどの数値は依然として高い。協議会では、北潟湖の水質はもとより今後の利活用を含め検討しているところで、農業、漁業、その他含めて総合的に進めていく。

委員 水質の目標を入れたほうがいいのでは。

委員 波松の海岸のごみへの対処はできないか。イベント的な掃除の事業を実施して、住民の意識を変えるような運動を実施しては。

市民生活 今現在小学生がごみ拾いを行ったり、集落の人が清掃活動を行ったりしている。加えて、7月上旬には県内各地からボランティアなどによる清掃イベントがあるなどの活動が実施されている。

委員 北潟湖の水質の悪化の原因はなにか。

市民生活 リン、窒素の数値が高い。丘陵地の営農に使用する化学肥料が水に流れ込んでいるのが原因であるといわれている。また、水門を閉じることにより水が循環しないことが原因のひとつにあげられる。水門を開けると淡水に海水が流れ込み、淡水の生態系の問題もある。

委員 開田橋の水門はもともと農業用水の取得が目的だったが、現在はほとんど使用していないことから、利用方法を考えるべきでは。

市民生活 ご指摘のとおり農業用の利用が限定的であるため、現在、北潟湖自然再生協議会においても、同様の意見がある。協議が始まったばかりであるため、今後議論を深めてきたい。

会長 【2】循環型社会の構築について意見や質問はないか。

委員 農業排水機場などにポイ捨てが多い。担当課だけでなく、農林水産課なども連携して取り組めないか。

副市長 問題はだれが捨てているのか、市民なのか。高速近くでポイ捨てが多いので、市外の人が捨てているように思う。農地にもポイ捨てが多い。大型家電などの不法投棄は減っている傾向だが、モラル教育は今後も続けていく。

会長 データで家庭ごみの量が増えているのはなぜか。

市民生活 家庭ごみは減っているが、不燃ごみ、粗大ごみが増えている傾向である。小型家電については、海外への輸出が減っており、市での処理が多くなっている現状がある。

会長 令和元年度の推移は。

市民生活 増えている。

課長

会長 【4】安心なまちづくりの推進について意見や質問はないか。

委員 特殊詐欺の内容をお年寄りだけでなく、若い人に向けての周知も必要では。

市民生活 昨年は中学生への啓蒙を行っている。詐欺の内容については、日々新しい手法の詐欺が発生しているため、随時職員が研修を受けている。今後も、市ホームページや広報紙などで啓発していきたい。

委員 お子さんが行方不明になった場合の連絡体制は。

副市長 お子さんが行方不明になった場合や認知症の高齢者が行方不明になった際の初動体制は、防犯隊にお願いして動いてもらっている。また、QRコードのシステムを導入して、高齢者がそれぞれQRコードを持ち、行方不明になった際にそのQRコードを読み込むことで、家族に情報が伝達されるようになっている。

会長 高齢者の事故はあわら市内のものか。あわら市民のものか。

副市長 市内で起きた事故の件数となっている。数字の把握についてはあわら警察署での把握によるもので、市民が県外においてあった事故の数字は難しい。事故にあった人は高齢者が大部分を占めている。

会長 その対応は何か行っているか。

副市長 県が、ブレーキやアクセル等の踏み間違い対策などを行っていく予定で、市もそれにならって進めていく。市としては、乗合タクシーの割引の期限を廃止するなど、免許返納を進めているところである。

会長 【12】社会保障制度の充実について意見や質問はないか。

(特に意見なし)

14 : 25 ~ 15 : 33

会長 健康福祉部所管施策に関し事務局の説明をお願いする。

事務局 (【5】保健医療の充実、【6】健康づくり活動の実践、【7】地域福祉の推進と災害支援、【9】高齢者福祉の充実、【10】障害者福祉の充実、【11】児童福祉の充実の説明)

会長 【5】保健医療の充実について意見や質問はないか。

会長 がん検診について十分な成果が上がらなかったとのことだが、特定健診とがん検診は一体的に行っているのか。

健康長寿課長 施策番号【4】のがん検診は、健康長寿課が担当している。【12】の特定検診は市民課が担当している。これまでは別々に案内を送っていたところを、昨年度は一緒に送ったが、受診率の向上にはつながらなかった。

受診率については、特定健診は受診する人が決まっている。がん検診は、国保以外の方も対象となり、会社で受けている方もいればそうでない方もいる。どの会社のがん検診を行っていないかの把握が難しく、分母の精度があまり高くないという問題がある。母数には会社でがん検診を行っている人の数も入っている。

会長 【6】健康づくり活動の実践について意見や質問はないか。

会長 伝承料理事業参加者数が上がっている理由は。

健康長寿課長 昨年度は国体があり、その際にブースを出して活動をしたことが上がっている要因の一つである。

会長 住民参加型の健康づくりの健康づくりサポーター事業について、地域間で温度差があるとは具体にはどういったことか。

健康長寿課長 行政区単位で一人のサポーターがいるが、定期的に区に根付いている活動もあれば、年に数回の開催や、取り組んでいない区もある。

会長 地域によりどんな違いがあるのか。サポーターの高齢化などによるものか。

健康長寿課長 サポーターは高齢化している。サロン化しているところもある。健康づくりというより介護予防のような活動になっている区もある。

委員 後期高齢者の人間ドックが、毎年から2年に一回なったのは受診率向上と逆行するのでは。

総務部長 ドックについては2年に1回になった。県内統一で2年に1回となり、後期高齢者広域連合の補助も2年に1回となっている。

委員 健康づくりサポーターは、スポーツ課と連携して進めていけば、よりよくなるのでは。

健康福祉部長 今年度の観月の夕べにおけるウォーキング事業においても、スポーツ課と意思疎通しながらやっているところ。現実的には、今すぐにどうこうするというのは難しいこともあるが、理想的には目指していくべきであるし、今後そのような形に近づけていきたいと思う。また、ポイント事業などもスポーツだけでなく、他課も巻き込んで、それぞれのイベントの参加率をあげることで健康づくりと一緒にやるなど、連携を図っているので、今後も進めていきたい。

会長 【7】地域福祉の推進と災害支援について意見や質問はないか。

会長 高齢化が進んでいる中で、地区の中の活力を考えると、実情に合わせて民生委員や福祉推進委員などの役職を減らしていくという必要もあるのでは。

福祉課長 民生委員については、国の制度で人員配置基準も決まっている。今年は改選の時期で、推薦が集まりにくくなっている状況ではある。福祉推進委員は、民生委員が複数の地区にまたがっている場合に、民生委員のいない地区に配置していたが、今は全区に配置している。今までは、行政側からの指導により事業を展開していたが、今後は福祉推進委員の方などが中心となって、地域の福祉を担っていただきたいと考えている。

委員 災害支援について、高齢化世帯の住む家などの雪かきなども含まれるのか。

福祉課長 含まれる。要援護者の見守りの中の一つ。災害の際には、自主防災組織の中において、福祉という立場でその役割を担っていただきたい。

委員 小規模の集落では、役職が一人に重なっている。

副市長 高齢化が進む中で、単独集落での活動は難しくなっている。公民館単位や小学校区単位で連携した取り組みが必要となってくる。

委員 見守りの名簿はもらっているが、名簿は手をあげた人のみの名簿となっている。本当に必要な人の把握ができていない。

副市長 ご自身が人の助けが必要との自覚があれば名簿に載るが、そうでないと乗らない。プライバシーの観点から、認知症の方のご家族は載せたがらない。

総務部長 温泉街では区や班に入らないこともあり、把握できない。また、名簿に載ったことによるトラブルも過去にあり、慎重にやらないといけない。

委員 防犯カメラなどは、認知症などにも有効では。

副市長 公共施設では、芦湯など人が多く集まる施設に設置している。来年には全小中学校で設置する予定。地元で設置するケースはある。映っている映像に対するプライバシーの問題もある。

会長 【9】高齢者福祉の充実について意見や質問はないか。  
(特に意見なし)

会長 【10】障害者福祉の充実について意見や質問はないか。

委員 親亡き後の生活拠点の整備とあるが、具体的にはどういったものか。

福祉課長 考え方としては、高齢者が共同で生活する場であるグループホームなどを想

定している。

- 委員 あわら市企業の障害者の就労件数のデータはあるか。
- 副市長 市で把握していない。
- 会長 障害者が暮らしやすいとことも大事だが、介助する人が住みやすいまちとなっているかという観点も大事かと思う。現在そういった事業はあるか。
- 福祉課長 高齢者、障害者については、社会福祉協議会に家族の会がある。
- 会長 障害者手帳を取りたくないということもある。
- 委員 家族が隠してしまうという実態もある。

- 会長 【11】児童福祉の充実について意見や質問はないか。
- 委員 人材確保に対する課題は、なぜ起きているのか。
- 子育て支援課長 シルバー人材センターには、クラブの支援員をお願いしている。課題としては、預かる子の数は増えているのに対して、平日や夏休みに支援員の数が足りないということがある。可能であれば資格所有者が好ましいが、不足しているためシルバーをお願いしている現状。
- 副市長 以前は小学校1～3年生だったのが、今は6年生までが対象なので、支援員は、体力的に厳しい部分があるのかもしれない。また、平日は、放課後だけなのでその時間だけという募集への応募が少ない。
- 会長 子ども食堂や高齢者サロンなどで預かることは可能か。
- 子育て支援課長 子ども食堂や高齢者サロンを実施している方は、ボランティアで行っている方が多く難しいのではないかと感じる。集落などで見てもらえる仕組みなどがあるといいと感じる。

15:45～17:00

- 会長 経済産業部所管施策に関し事務局の説明をお願いする。
- 事務局 (【24】観光の振興、【25】農業の振興、【26】林業の振興、【27】水産業の振興、【28】工業の振興、【29】商業の振興、【30】雇用環境の充実の説明)
- 会長 【24】観光の振興について意見や質問はないか。
- 委員 市の知名度をアップさせるのに具体的な考えがあるのか。例えば金津地区は歴史も深く、掘り起こせば魅力になるものがたくさんあるのでは。
- 観光振興課長 昨年度策定した観光振興戦略に基づき、金津エリアでもあわら温泉とのタイアップや周辺の有名な観光地と連携した形で、知名度向上を図っていきたい

と考えている。

副市長 北陸新幹線開業に向けて、周遊滞在型観光を進めていく必要がある。

委員 全体にあわら温泉への入込みが減っているが、インバウンドが増えている。ということは日本国内のお客さんにも目を向ける必要がある。新幹線開業は首都圏のお客さんの誘客が増えるとは思いますが、高速道路の開通があわら温泉や北陸地区の発展につながると思うので、そちらに対する対応もお願いしたい。

観光振興課長 北陸新幹線は首都圏エリア、中部縦貫自動車道の開通は中京エリアの誘客を見込める。関西の方は、交通の便が不安ではあるが、関西の奥座敷であるあわら温泉をこれまで以上にPRしていきたい。日本全体での露出を増やすことで、誘客につなげていきたい。

委員 キャッシュレス決済の進み具合はどうか。

商工労働課長補佐 今年度は、消費税増税への対策として説明会を2回ほど実施し、70名ほど参加。現在市として把握している数字としては、150ほどの事業所が、市内でキャッシュレス決済を導入している。

委員 アンケートでは、市に魅力を感じている割合が低い。自分たちが観光地として魅力がないと感じている。この辺を育てることは考えているのか。

観光振興課長 市民セミナーは実施したいと考えている。また、まち・むらときめきプランでは、集落ごとの魅力の醸成などをすることによって、住んでいる人が魅力を再発見するように進めていくこととしている。

委員 あわら温泉の英語表記について、「spa」「onsen」などが考えられるが、統一する考えはあるか。また、金沢とあわらとつなぐバスKANAZAWARA号の看板がまだ出ているように思うが、撤去しないのか。自転車置き場が溢れていて道路にはみ出ているが対応しないのか。レンタサイクルの整備は考えているのか。

観光振興課長 Onsenへ統一への考え。KANAZAWARA号については、8月までは看板を設置していたが、「あわらぐるっとバス」の運行に伴い撤去している。

副市長 自転車については、駅前整備に伴い100台ほどなくなっている。西口駐車場の一画に止めてもらうようにしているが、利用されていない状況である。いずれ立体駐車場整備に伴い、駐輪場の整備も再来年の4月に向けて行う予定。

委員 レンタサイクルの考えはあるか。

観光振興課 レンタサイクルについては、観光戦略に記載している。乗り捨てができる

長 ような仕組みの検討をしている。

会長 【25】農業の振興について意見や質問はないか。

会長 本学で、新しい学部があわら市で創設される予定。新規就農などへの興味を持っている生徒との連携も考えられる。

農林水産課 近隣の農家との連携を図った取組みを行っていきたい。

長

会長 【26】林業の振興について意見や質問はないか。

会長 森林環境譲与税は、どれくらいの歳入になるのか。

農林水産課 今年度については約600万。3年間は同規模で推移していき、それ以降増加していき、15年後に約1,500万円の規模になる予定。

長

会長 整備はどのように行っていくのか。

農林水産課 現在進めている森林整備構想において、その内容を記載していく。

長

委員 人材育成と担い手確保とあるが、ほとんどの森林は森林組合が管理を行っている。組合自体の人材の状況は。

農林水産課 若い人を採用していると聞いている。

長

経済産業部 坂井森林組合は県内でもトップクラスの組合。優秀な活動を行っている。

理事

委員 現在、木質バイオマスの構想はあるのか。

副市長 旅館への取組みは継続して行っているが、拡大していくという事業は中断している。ただ、間伐材を有効活用するために、ペレット材にして市内で利用するなど、市内で循環することにより結果的に地域を守っていることになっている。

委員 木質バイオマスを2件ほど旅館でも使っている。今後新たな補助金はないのか。

副市長 新たな補助金は難しい。今後の情勢を見ながらの判断となる。

会長 【27】水産業の振興について意見や質問はないか。

委員 外来魚は一定の効果があつたとあるが、具体的にはどういった内容か。

副市長 実際には、塩害・水温によって減ったことが大きい。

委員 内水面では、寒ブナとしか記載されていないが、ワカサギについてはどう  
なっているのか。稚魚放流はやっているのか。

政策課長 県に報告するようなトン単位で釣れてはいない。

会長 【28】工業の振興について意見や質問はないか。

商工労働課 市内で470人の外国人がいる。労働実習生の受入れが要因と考えている。主  
長補佐 国籍はベトナム人157名、中国人112名、フィリピン人81名である。

会長 家族は帯同しているか。

商工労働課 実習生は帯同が認められていない。家族で住まわれている方は、日本人と  
長補佐 結婚したことなどの理由だと考えられる。

会長 工業用水は廃止されるのか。

経済産業部 今までは一つの企業に対して供給していたが、平成30年度をもって廃止し  
長 た。

会長 【29】商業の振興について意見や質問はないか。

特になし

会長 【30】雇用環境の充実について意見や質問はないか。

委員 なぜ、大学と高校と中学に分けているのか。

商工労働課 内容としては、同じことをやっている。

長

副市長 現在、企業ガイドブックの作成を進めている。あわらにあるものをよく理  
解してもらおう。大学生に関しては、親御さんにアプローチして伝えてもら  
うなどしないと、なかなか直接のアプローチは難しい。

委員 就職率がいいので、地元に残るといえることはないか。

副市長 有効求人倍率は高いが、必ずしも地元への就職にはつながっていない。  
都会に行く理由としては、学生が魅力を感じる企業がないことなどがあげ  
られる。

会長 企業ガイドブックについて、どういう時期に配布するのか。

商工労働課 12月末の完成を予定しており、成人式に配布する。また、中学校2年生の  
長 職場体験、高校2年生の企業見学などの際に配布を考えている。加えて、  
坂井地区の高校生や学校の先生方への配布、移住定住フェアでの活用を考  
えている。

委員 金津工業団地の従業員はどれくらい。  
商工労働課 7,000人ほど。あわら市よりも坂井市が多い。  
長

会長 本日予定の案件はすべて終了した。以上で、本日の会議を終了させていただく。

事務局 事務連絡（次回会議の件（10月4日(金)） （17:05閉会）